

秋らしいさわやかな天気が続きます。空の高さを改めて感じる北郷地区ですが、この時期はやはり「満天の星」が魅力です。光害のないすんだ夜空は、いつまでも飽きることのない映画館のようです。冬の足音を遠くに聞きつつ、まだしばらくは味わっていたいひとときです。

さて、「きらら」11月号をお届けいたします。いつもお読みいただきありがとうございます。



しっかりと考えましょう



先日、子どもたちの生活環境を把握するために、携帯電話やスマートフォンなどメディア・アンケートをとりました。結果は以下のとおりです。（一部抜粋）

《質問》あなたは自分用の携帯電話・スマホをもちますか。

学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
もっている (%)	38	33	25	0	20	20	63	33	0

《質問》携帯電話・スマホ、ゲーム機などの1日の使用時間はどれくらいですか。

学 年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
最 低	10分以内	10分以内	10分以内	10分以内	30分以内	10分以内	1時間以内
最 高	1.5~2時間	1時間以内	1.5~2時間	2時間以上	2.5~3時間	2.5~3時間	3時間以上

北郷の子どもたちが、かなりの割合で自分専用の機器をもちていることに正直驚いています。その必要性は？何をしているのかを聞くと、圧倒的に「動画を見る」「ゲーム」が多く、本来の通信（電話）の役割とは違っています。使用のルールを決めて「いない」家庭は、全体の43%。つまり、かなりの子どもたちが、いつでも好きなときに好きなだけ動画を見たりSNSを閲覧したり、ゲームに没頭することができる環境にあるということです。中には、ネットショッピング（オークションを含む）をしている子どももいました。

こうした携帯電話やスマートフォン、タブレット、パソコンなどのメディアそのものが悪いというわけではありません。その使い方が問題なのです。休日前夜、一晩中こっそりゲームをしている実態はありませんか？LINE（ライン）やメールに夢中でちゃんとした会話が減ってはいませんか？このままではいけません。早急な対策が必要です。子どもたちの心身の健康のために、今だからこそ親（大人）が守ってあげなければならないことの一つです。ぜひ一度、家族全員で話し合ってみてください。

子どもたちのメディア事情

先生方の「働き方改革」 その②

前号では、国や県、美郷町の働き方改革について、その動向や現状についてお伝えしました。学校は子どもたちの健全育成のためにあること、中でも授業を中心としたかわりが第一義であることを踏まえ、各学校での取組が求められます。そこで、今号では美郷北学園の取組についてお伝えします。

美郷北学園の働き方改革のキーワードは、《**チャレンジ 7-6 (セブン・トゥ・シックス)**》です。「**仕事は午前7時から午後6時までには終わらせましょう。**」というねらいです。当然、出退勤時刻もこれを守っていきます。授業準備や校務の業務もこの範囲で行い、決して unnecessary 残業をしないこと。自分や家族との時間を大切に、心身ともに豊かな時間をもつことができるようにしています。これは、教頭先生も学級担任の先生方も、事務室の先生方も全て同じです。そのために、以下のようなことに取り組んでいます。

◇ 「石垣プロジェクト」

学校業務の隙間をお互いに支え合い、助け合うことを意味しています。大きな行事や学級担任の業務を複数の職員で補い合うことで、一人一人の負担を軽減していきます。印刷や採点業務の分担等も視野に入れていきます。

◇ 適正な勤務時間の管理

ICカードによる勤務時間の管理やリフレッシュデー（毎週水曜日は16時30分全員退庁）、週2日の部活動休養日（水曜日と日曜日）を実施しています。

◇ 行事や会議の精選

宿泊学習や修学旅行などの大きな行事の見直しのほか、会議の時間や内容、ペーパーレス化を進めています。

行事予定 12月

- 7日（金） 給食感謝集会・弁当の日
- 13日（木） 振替休業日（15日分）
- 15日（土） ロードレース大会・参観日
- 16日（日） 修学旅行（8年）～19日
- 21日（金） 2学期終業式
- 冬休み：12月22日（土）～1月6日（日）

明日のチカラ

科学は多数決ではない。既存の概念を壊す少数派の中からこそ新しい成果が生まれる。

本庶 佑（京都大特別教授）
2018年ノーベル医学生理学賞受賞

ホームページをご覧ください

<http://cms.miyazaki-c.ed.jp/1665/htdocs>
または、美郷町立美郷北学園 で検索

